

## ○提出書類ファイル仕様書 新旧対照表

第三版	第二版										
<p><b>本書について</b></p> <p>本書では、EDINETに提出する提出書類のファイル仕様全体について説明しています。XBRL対象書類の提出者別タクソノミ及び報告書インスタンスのファイル仕様については、『<u>提出者別タクソノミ作成ガイドライン</u>』及び『<u>報告書インスタンス作成ガイドライン</u>』をそれぞれ参照してください。また、<u>表示変換方式によるXBRLを提出する場合は『提出者別タクソノミ作成ガイドライン(表示変換方式)』及び『報告書インスタンス作成ガイドライン(表示変換方式)』をそれぞれ参照してください。</u></p>	<p><b>本書について</b></p> <p>本書では、EDINETに提出する提出書類のファイル仕様全体について説明しています。XBRL対象書類の提出者別タクソノミ及び報告書インスタンスのファイル仕様については、『<u>提出者別タクソノミ作成ガイドライン</u>』及び『<u>報告書インスタンス作成ガイドライン</u>』をそれぞれ参照してください。<u>(抜粋版では、表示情報ファイルに関する内容を記載していません。)</u></p>										
<p>関連ドキュメントについて</p>	<p>(追加)</p>										
<p>本書の関連ドキュメントは、次の図表のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="359 848 1314 1478"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 848 753 890">ドキュメント名</th> <th data-bbox="753 848 1314 890">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="359 890 753 995">提出者別タクソノミ作成ガイドライン</td> <td data-bbox="753 890 1314 995">平成25年度中に適用開始予定の次世代EDINETタクソノミを用いて提出者別タクソノミを作成するためのガイドラインです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 995 753 1100">報告書インスタンス作成ガイドライン</td> <td data-bbox="753 995 1314 1100">平成25年度中に適用開始予定の次世代EDINETタクソノミを用いて報告書インスタンスを作成するためのガイドラインです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1100 753 1331">企業別タクソノミ作成ガイドライン (表示変換方式)</td> <td data-bbox="753 1100 1314 1331">平成20年より開始したEDINET(以下「現行EDINETという。’)におけるXBRLをHTMLに変換する方式(以下「表示変換方式」という。’)に基づくタクソノミのための『企業別タクソノミ作成ガイドライン』を本書では『企業別タクソノミ作成ガイドライン(表示変換方式)』と表記します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1331 753 1478">報告書インスタンス作成ガイドライン (表示変換方式)</td> <td data-bbox="753 1331 1314 1478">現行EDINETにおける表示変換方式に基づくタクソノミのための『報告書インスタンス作成ガイドライン』を本書では『報告書インスタンス作成ガイドライン(表示変換方式)』と表記します。</td> </tr> </tbody> </table>	ドキュメント名	概要	提出者別タクソノミ作成ガイドライン	平成25年度中に適用開始予定の次世代EDINETタクソノミを用いて提出者別タクソノミを作成するためのガイドラインです。	報告書インスタンス作成ガイドライン	平成25年度中に適用開始予定の次世代EDINETタクソノミを用いて報告書インスタンスを作成するためのガイドラインです。	企業別タクソノミ作成ガイドライン (表示変換方式)	平成20年より開始したEDINET(以下「現行EDINETという。’)におけるXBRLをHTMLに変換する方式(以下「表示変換方式」という。’)に基づくタクソノミのための『企業別タクソノミ作成ガイドライン』を本書では『企業別タクソノミ作成ガイドライン(表示変換方式)』と表記します。	報告書インスタンス作成ガイドライン (表示変換方式)	現行EDINETにおける表示変換方式に基づくタクソノミのための『報告書インスタンス作成ガイドライン』を本書では『報告書インスタンス作成ガイドライン(表示変換方式)』と表記します。	
ドキュメント名	概要										
提出者別タクソノミ作成ガイドライン	平成25年度中に適用開始予定の次世代EDINETタクソノミを用いて提出者別タクソノミを作成するためのガイドラインです。										
報告書インスタンス作成ガイドライン	平成25年度中に適用開始予定の次世代EDINETタクソノミを用いて報告書インスタンスを作成するためのガイドラインです。										
企業別タクソノミ作成ガイドライン (表示変換方式)	平成20年より開始したEDINET(以下「現行EDINETという。’)におけるXBRLをHTMLに変換する方式(以下「表示変換方式」という。’)に基づくタクソノミのための『企業別タクソノミ作成ガイドライン』を本書では『企業別タクソノミ作成ガイドライン(表示変換方式)』と表記します。										
報告書インスタンス作成ガイドライン (表示変換方式)	現行EDINETにおける表示変換方式に基づくタクソノミのための『報告書インスタンス作成ガイドライン』を本書では『報告書インスタンス作成ガイドライン(表示変換方式)』と表記します。										

## 2-1 使用するフォルダについて

### 2-1-1 必要なフォルダ一覧

#### 2-1-1-1 フォルダ構成と特長

(略)

図表 2-1-3 格納可能なファイル形式(1)

フォルダ名	フォルダ直下(本文ファイル)	サブフォルダ(付随ファイル)
PublicDoc <sup>※1</sup>	マニフェスト XML	HTML JPEG GIF
	タクソノミ XSD XML	PNG
	インスタンス インラインXBRL HTML	
AuditDoc <sup>※1</sup>	マニフェスト XML	HTML
	タクソノミ XSD XML	
	インスタンス インラインXBRL HTML	

(略)

## 3-2 提出書類データの作成仕様

### 3-2-2 HTML ファイルについて

#### 3-2-2-2 ファイルサイズについて

HTML ファイルは、1 ファイル当たり **2.5MB(メガバイト)以下**となるように作成します。

※ インライン XBRL ファイルの場合、一つの隅付き括弧(【】)目次の記載で 2.5MB(メガバイト)を超える場合は、分割せずに提出してください。

インライン XBRL ファイルを分割する場合には『報告書インスタンス作成ガイドライン』の「図表 3-1-1 インライン XBRL ファイル分割時の注意」を参照してください。

## 2-1 使用するフォルダについて

### 2-1-1 必要なフォルダ一覧

#### 2-1-1-1 フォルダ構成と特長

(略)

図表 2-1-3 格納可能なファイル形式(1)

フォルダ名	フォルダ直下(本文ファイル)	サブフォルダ(付随ファイル)
PublicDoc <sup>※1</sup>	マニフェスト XML	HTML JPEG GIF
	タクソノミ XSD XML	PNG
	インスタンス インラインXBRL HTML	
AuditDoc <sup>※1</sup>	マニフェスト XML	HTML
	タクソノミ XSD XML	
	インスタンス インラインXBRL	

(略)

## 3-2 提出書類データの作成仕様

### 3-2-2 HTML ファイルについて

#### 3-2-2-2 ファイルサイズについて

HTML ファイルは、1 ファイル当たり **2.5MB(メガバイト)以下**となるように作成します。

(追加)

<p><b>3-3 PDF 変換仕様</b></p> <p>(内容は、『提出書類ファイル仕様書』を参照してください。)</p> <p><b>3-11 公告の提出ファイル作成について</b></p> <p>(内容は、『提出書類ファイル仕様書』を参照してください。)</p> <p><b>3-12 その他</b></p> <p>(内容は、『提出書類ファイル仕様書』を参照してください。)</p> <p><b>4章 XBRL から HTML への表示変換ガイド</b></p> <p>(内容は、『提出書類ファイル仕様書』を参照してください。)</p>	<p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p>
--	---